



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月14日

上場会社名 片倉コープアグリ株式会社 上場取引所 東
コード番号 4031 URL <https://www.katakuraco-op.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 二井 英一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務本部長 (氏名) 杉本 真 (TEL) 03-5216-6611
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	9,801	△0.4	175	—	195	—	112	—
2025年3月期第1四半期	9,843	△5.4	△104	—	△126	—	△95	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 99百万円 (—%) 2025年3月期第1四半期 △49百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	12.53	—
2025年3月期第1四半期	△10.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	47,326	23,785	50.2
2025年3月期	50,094	23,865	47.5

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 23,735百万円 2025年3月期 23,815百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2026年3月期の配当予想については現時点では未定であります。2026年3月期の連結業績予想とあわせて2025年8月末までに公表する予定です。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

2026年3月期の連結業績予想につきましては、現在策定中の中長期成長戦略の内容を踏まえて開示すべく、2025年8月末までに公表する予定です。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
 新規 一社(社名)一、除外 1社(社名)コープエンジニアリング株式会社
 (注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(連結範囲の重要な変更)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 (注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期1Q	10,161,686株	2025年3月期	10,161,686株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	1,203,240株	2025年3月期	1,203,083株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期1Q	8,958,532株	2025年3月期1Q	8,964,528株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2026年3月期の業績予想については、現時点において未定であります。詳細は、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(連結範囲の重要な変更)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

肥料業界におきましては、地政学的リスクや中国による輸出規制に加え、インド等の旺盛な需要を背景に、国際市況は引き続き高値で推移しております。国内肥料価格は、原料の多くを海外に依存しているため、高止まりの状況が続いており、買い控えや施肥量の削減、安価品への需要シフト等、需要の低迷が継続しております。このような事業環境下、当社グループは、近年注目が高まるバイオスティミュラント分野に本格参入し、4月に続き6月にも新製品の販売を開始いたしました。今後は製品ラインナップを拡充し、積極的な販売促進活動を通じて普及拡大を図ってまいります。また、分析受託事業では、近赤外分光法と独自のAI技術を組み合わせた次世代土壌分析技術を確立し、農業現場の課題解決に資するソリューションの提供に取り組んでおります。これらにより、全国の農業生産者への支援体制を一層強化してまいります。

化学品事業では、有機素材（化粧品原料）において高機能原料の開発と当社独自製品の拡販に注力するとともに、東南アジアでの需要拡大を見据え、2024年12月に輸出したインドネシアの化粧品原料販売商社と連携し、販路拡大に取り組んでおります。無機素材においては、マイクロビーズ代替やUVケア製品向けの高機能化粧品原料、ならびに食品包装用途におけるモノマテリアルパッケージ対応のバリア性素材の開発を進めております。化成品については、海外展開やHALAL認証の活用を通じて新規市場への参入を進め、リン酸製品のシェア拡大を図っております。

化学品事業を当社グループの成長を牽引する中核事業と位置づけ、更なる成長領域への展開を通じて、持続的な企業価値の向上を図ってまいります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高9,801百万円（前年同期比0.4%減）、営業利益175百万円（前年同期は営業損失104百万円）、経常利益195百万円（前年同期は経常損失126百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益112百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失95百万円）となりました。

各セグメント別の概況は以下の通りです。

当第1四半期連結会計期間より、当社グループ内の管理区分を見直したことに伴い、これまで「その他」の区分に含めていた海外事業、農産物及び物資その他、プラント等の設計及び施工、運送業務等の各事業等を、それらを所管する「肥料」及び「化学品」の各セグメントに組み替えて表示しております。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、見直し後のセグメント区分に基づいて作成したものを記載しております。

肥料事業は、6月の肥料価格値上りを見越した前取り需要が前年に比べ限定的であったことや、国内肥料価格の高止まりによる需要回復遅れ等により、販売数量が前年を下回ったことから、売上高8,066百万円（前年同期比0.9%減）となりましたが、利益面においては、今年度は前年の在庫要因で発生した売買差損の影響が解消されたことにより、セグメント利益7百万円（前年同期は222百万円の損失）となりました。

化学品事業は、工業用リン酸やインドネシア向けの化粧品原料等の販売増加により、売上高1,808百万円（前年同期比3.9%増）、セグメント利益178百万円（前年同期比26.8%増）となりました。

不動産事業は、一部物件の賃料改定等により、売上高76百万円（前年同期比1.1%増）、セグメント利益は3百万円（前年同期比2.1%増）となりました。

その他の事業は、連結子会社において水産エキスの販売数量増加により、売上高89百万円（前年同期比40.0%増）、セグメント利益3百万円（前年同期は12百万円の損失）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の資産の合計は47,326百万円となり、前連結会計年度末（以下「前年度末」という）に比べ2,767百万円減少しました。

同じく負債の合計は、23,541百万円となり、前年度末に比べ2,688百万円減少し、純資産の合計は23,785百万円となり、前年度末に比べ79百万円減少しました。

この結果、自己資本比率は前年度末の47.5%から50.2%となり、1株当たり純資産額は前年度末の2,658.36円から2,649.56円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期（2026年3月期）の通期連結業績見通しにつきましては、現在策定中の中長期成長戦略の内容を踏まえて開示すべく、2025年8月末までに公表する予定です。

そのため、現時点では業績予想を「未定」とさせていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,105	2,321
受取手形及び売掛金	10,812	7,012
商品及び製品	9,268	9,643
仕掛品	953	630
原材料及び貯蔵品	6,242	6,717
その他	500	724
貸倒引当金	△3	△2
流動資産合計	29,878	27,046
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,619	5,540
機械装置及び運搬具（純額）	2,259	2,282
土地	7,415	7,415
その他（純額）	1,835	1,878
有形固定資産合計	17,129	17,117
無形固定資産	891	993
投資その他の資産		
その他	2,211	2,187
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	2,194	2,169
固定資産合計	20,216	20,280
資産合計	50,094	47,326

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,947	6,331
短期借入金	12,310	10,720
未払法人税等	227	103
賞与引当金	432	194
その他	2,033	1,958
流動負債合計	21,949	19,307
固定負債		
長期借入金	2,200	2,200
役員退職慰労引当金	197	203
退職給付に係る負債	1,063	1,043
資産除去債務	286	286
その他	531	500
固定負債合計	4,279	4,233
負債合計	26,229	23,541
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,214	4,214
資本剰余金	9,906	9,906
利益剰余金	10,309	10,242
自己株式	△1,407	△1,407
株主資本合計	23,022	22,955
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	328	326
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	—	△2
退職給付に係る調整累計額	463	456
その他の包括利益累計額合計	792	780
非支配株主持分	49	49
純資産合計	23,865	23,785
負債純資産合計	50,094	47,326

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	9,843	9,801
売上原価	8,524	8,178
売上総利益	1,319	1,623
販売費及び一般管理費	1,424	1,448
営業利益又は営業損失(△)	△104	175
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	8	11
持分法による投資利益	—	5
受取保険金	2	15
その他	14	28
営業外収益合計	25	61
営業外費用		
支払利息	18	32
持分法による投資損失	0	—
その他	27	7
営業外費用合計	47	40
経常利益又は経常損失(△)	△126	195
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除売却損	3	17
その他	0	—
特別損失合計	4	17
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△131	178
法人税、住民税及び事業税	△35	68
法人税等調整額	0	△1
法人税等合計	△35	66
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△95	111
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△95	112

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△95	111
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	49	△2
繰延ヘッジ損益	—	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△2
退職給付に係る調整額	△2	△7
その他の包括利益合計	46	△12
四半期包括利益	△49	99
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△49	100
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結範囲の重要な変更)

当第1四半期連結会計期間より、当社の連結子会社であったコープエンジニアリング株式会社は、同じく当社連結子会社であるコープ商事物流株式会社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。また、コープ商事物流株式会社は吸収合併後、商号を「KCA L&E株式会社」に変更し、事業を継続しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

1. 原価差異の繰延処理

季節的に変動する操業度により発生した原価差異は、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を繰延べ処理しております。

2. 税金費用の計算

税金費用については、主に当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次の通りであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	312百万円	305百万円

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	肥料	化学品	不動産	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	8,109	1,596	—	9,706	63	9,769	—	9,769
その他の収益	—	—	73	73	—	73	—	73
外部顧客への売上 高	8,109	1,596	73	9,779	63	9,843	—	9,843
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	33	143	2	179	—	179	△179	—
計	8,143	1,740	75	9,959	63	10,023	△179	9,843
セグメント利益又は 損失(△)	△222	140	3	△78	△12	△91	△13	△104

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△13百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	肥料	化学品	不動産	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	8,020	1,617	—	9,638	89	9,727	—	9,727
その他の収益	—	—	74	74	—	74	—	74
外部顧客への売上 高	8,020	1,617	74	9,712	89	9,801	—	9,801
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	46	191	2	239	—	239	△239	—
計	8,066	1,808	76	9,952	89	10,041	△239	9,801
セグメント利益	7	178	3	189	3	192	△17	175

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△17百万円は、セグメント間取引消去であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、当社グループ内の管理区分を見直したことに伴い、これまで「その他」の区分に含めていた海外事業、農産物及び物資その他、プラント等の設計及び施工、運送業務等の各事業等を、それらを所管する「肥料」及び「化学品」の各セグメントに組み替えて表示しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、見直し後のセグメント区分に基づいて作成したものを記載しております。